

内容をご熟読ください。

Owner's Guide
取扱・取付説明書

HORNET[®]

Bee Sensor[®]

カーセキュリティシステム

保安基準適合品

BEE737-V

盗難発生警報装置



「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

はじめに

この度はカーセキュリティBEE737-Vをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
でございます。

ご使用前に本書記載の取扱方法や注意事項をよくお読みいただき、安全かつ
正しい方法でご使用ください。なお、本書には保証書が添付されています。
大切に保管してください。

本製品は、保安基準適合品です。盗難発生警報装置としてご使用いただけます。
取り付けが伴う製品です。
全国のホーネット取扱店、最寄りのカー用品店、電装店にご依頼ください。

本製品はDC12V車両専用です。24Vの車両に取り付けする場合は、別売の
24V用DCDCコンバーター(BEE-24DC)をお買い求めください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や記載漏れなどお気付きの点が
ありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。
- 本書に掲載されている内容は2025年10月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている製品仕様、デザインは、性能向上のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET®、BeeSensor® は加藤電機株式会社の登録商標です。
イグニッションONセンサー等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の登録商標または商標です。

目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	6
同梱物をご確認ください	7
BEE737-Vの同梱物	7
製品について	8
製品の説明	8
各部名称	8
主要装備	9
2段階超音波センサー	9
ワイヤレスドアセンサー/イグニッションONセンサー/スターター停止機能	10
7連7色LED	11
各種機能	12
確認音/警告音/警報	12
異常・故障検知	13
専用リモコン/コードホッピング®/メモリー機能/充電アラート機能	14
スリープモード/セキュリティ保持機能(レジューム)	15
迷惑防止機能(NPC)/エンジンスターター・ターボタイマー併用機能	16
使用前の準備	17
車載対応ニッケル水素バッテリーの設置および接続	17
サンバイザー設置用クリップとハーネスの接続	18
取り付け方法	19
取り付け全体イメージ	19
メインユニットの固定と車内センサーマイクの調整	20
車両ホーンへの接続(オプションハーネス茶/白線)	21
スターター停止機能の接続(オプションハーネス赤/白線)	22
ワイヤレスドアセンサーの取り付け	24
直接電源取り出しハーネスの接続/シガープラグ電源ハーネスの接続	26
専用バッテリーの充電	27

目次

基本的な操作方法	2 8
リモコンのボタンについて/メインユニットのボタンについて	2 8
システムON/システムOFF	2 9
2段階超音波センサーの動作チェック(動き・振動・衝撃)	3 0
2段階超音波センサーの動作チェック(ドア開け)	3 1
イグニッションONセンサーの動作チェック/パニックモード(強制警報)	3 1
応用的な操作方法	3 2
2段階超音波センサーをキャンセルしてシステムON(コンビニモード)	3 2
確認音を鳴らさずにシステムON/OFF(消音機能)	3 2
オートシステムON/強制解除	3 3
リモコンを使わないシステムON/OFF(メインユニットのボタン)	3 4
セキュリティモード⇄サイレントモード	3 5
機能設定方法	3 6
2段階超音波センサーの感度調整方法	3 6
機能設定メニュー 1	3 7
機能設定メニュー 1 の設定変更/機能設定メニュー 2	3 8
リモコンの電池交換方法/製品仕様	3 9
Q&A、トラブルシューティング	4 0
Q&A/トラブルシューティング	4 0
アフターサービスについて	4 1
アフターサービスについて/セキュリティラウンジあんしんサポートについて	4 1
保証書について/検査・修理を依頼されるときは/お問い合わせ先	4 1
保証規定	4 2
保証書 <製品の保証・登録はこちらから>	

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作を避けることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意



危険

- 本製品はDC12V車両専用です。24V車両で使用する場合は、別売の24V用DCDCコンバーターBEE-24DCをお買い求めください。製品仕様以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



警告

- 本製品を故意に分解、改造は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切してありません。
- 運転の視界、車両機能（エアバックなど）の妨げにならない場所に取り付けしてください。
- 本製品の取り付けには正しい車両電装知識が必要です。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。
- 車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。
- 運転中は、本製品を操作しないでください。わき見運転は、事故の原因になります。
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けております。分解および改造変更はしないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品を故意に分解、加工、改造変更は絶対にしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。センサーをOFFしたり、誤って飲み込むなどの事故の恐れがあります。
- オプションの取り付けには、正しい車両電装の知識が必要となります。必ず当社ホームページに掲載のある取付店に依頼してください。
- 本製品を不用意に人やペットの近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。



注意

- 本製品は、オープンカーなど密閉性の低い車両では使用できません。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品はセンサー検知時、内蔵ブザーによる警報を行います。騒音にならないようにセンサー感度調整を周囲の環境を考慮した上で行ってください。
- 本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。
- 万一、車両盗難や車上狙い等の被害が発生しても当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品の取り付けには、車両電装知識が必要です。最寄りのカー用品店、車両電装取付店もしくは、当社ホームページに掲載されているホーネット取付店にご依頼ください。

お取り扱い上の注意

使用上の注意



禁止

- 本製品のメインユニットを破損加工したり、付属のハーネスを傷つけたり無理に引っ張らないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- 濡れた手で本製品、付属品を触らないでください。感電する恐れがあります。



必ずお読みください。

- 国産車限定、日本国内メーカーの車両に対応しています。並行輸入車、外国車への取付サポートはしていません。
- 当社では製品検査、修理時の代品貸し出しは一切行っておりません。また検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- 本製品は、粉塵防水加工が施され簡単に破壊できない構造になっていますが、故意に落としたり、叩いたりしないでください。
- 本製品の動作に関わらず、犯罪、事故が発生しても当社は一切責任を負いません。
- 地震、雷、風水害および火災、その他の事故および損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用にて生じた付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社では製品を長く安心してご利用いただくため、セキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めしています。ご登録いただきますと、製品保証の延長を受けることができます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年です。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上のため、予告なく変更される場合があります。

(1) リモコンの取り扱いに関する注意



注意

- リモコンは、落としたり固いものにぶつける等の強い衝撃を与えないでください。
- 水がかかるような保管方法や使用方法をしないでください。また、高温になる場所や湿気の多い場所に保管しないでください。
- 持ち運びの際にはリモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- リモコンの電池が消耗するとリモコンの効きが悪くなります。早めに電池を交換してください。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものであり、消耗品のため、ご購入時の使用できる期間に差があります。電池は保証対象外となりますので、電池が消耗している場合には新しい電池をお買い求めください。
- 電波塔が近いなど電波障害がある環境では、リモコンの見通し距離が著しく短くなる場合があります。

(2) 使用方法についての注意



注意

- 動作チェック・テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。当社では万一、破損等が発生しても責任は一切負いかねます。
- 本製品は、車載対応ニッケル水素バッテリーで動作しますが、1週間以上車両をご使用されない場合は、スリープモードに入っているため、必ず強制解除操作を行ってから乗車してください。
- 本製品は、異常を知らせるためセンサー検知時は、車両ホーンが鳴ります。騒音などにならないように周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。
- 接触不良など正しい取り付けがされていない場合は、走行中でもリモコン操作によりセンサーがONになり車両ホーンが鳴る場合があります。慌てずに安全な場所に停止して止めてください。

同梱物をご確認ください

BEE737-Vの同梱物

取り付け前に必ずご確認ください。



メインユニット× 1 台
サンバイザー設置用
クリップ× 1 個付



センサー用リモコン× 1 個
型式:493V II(B)/493V III(B)

ボタン電池(CR2032)× 1 個
※出荷時リモコンにセットされています。



008YUA080117



008-240456



ワイヤレスドアセンサー× 1 個
型式:571W

ボタン電池(CR2450)× 1 個
※ご使用前にセットしてください。



201-240812



直接電源取り出しハーネス× 1 個
型式:656H



シガープラグ電源ハーネス× 1 個
型式:657H



オプションハーネス× 1 個
型式:658H



ミニリレー× 1 個
型式:8616

3A平型ヒューズ付
ハーネス× 1 個



車載対応ニッケル水素
バッテリー (1,100mAh) × 1 個
型式:604T



HORNET防犯ステッカー× 1 シート
型式:ST135H

<その他>

- ・説明書(本書)
- ・スポンジテープ(2枚)

製品について

製品の説明

保安基準に適合したカーセキュリティシステムです。3つのセンサーと内蔵ブザー、車両ホーン鳴動、スターター停止機能、LEDのフラッシュ点滅により車上狙い、車両盗難対策ができます。

システム作動中(以下システムON)は、LEDの警戒中点滅により犯罪抑止効果は抜群です。

車両バッテリーとは独立した内蔵の専用バッテリーで動作しますので万一、車両バッテリーの供給を絶たれても満充電でおよそ1週間の警戒が可能です。



各部名称



主要装備

2段階超音波センサー

車内に超音波を張り巡らせることで、車両への衝撃やガラス割り、さらにはドア開けや車内への侵入を検知することができます。弱い衝撃や小さな動きには内蔵ブザーと車両ホーンで警告音を鳴らし、強い衝撃や大きな動きには30秒間警報します。



⚠ 注意

- 超音波センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（幹線道路周辺、工事現場や工場近く、飛行場周辺、バックファイヤーの激しい車の往来、台風、その他）による微振動や衝撃波を検出して犯罪時以外にも警告や警報音が鳴る場合があります。センサーの特長をよく理解し、ご使用環境や目的によって適切な感度に設定の上で使用ください。
- 超音波センサーは、車外の動きを検知しません。車両ボディ、その他への傷つけを防ぐことはできません。
- 純正セキュリティ等、他の超音波センサーと併用することはできません。干渉して誤警報する恐れがあります。

主要装備

ワイヤレスドアセンサー

付属のワイヤレスドアセンサー(571W)により不正なボンネットこじ開けを検知することができます。



ヒント

- ワイヤレスドアセンサー (571W) は、最大4個まで BEE737-V 本体に登録することができます。
- トランクのこじ開けやドアの開閉検知を行う場合は、追加してください。

イグニッションONセンサー

不正なイグニッションON (IGON) を検知します。



スターター停止機能

不正なエンジン始動を防止します。CANインバーダー、リレーアタック、キーエミュレーターなどの不正なエンジン始動を防止できます。システムをOFFにしない限りエンジン始動はできません。



注意

- 車種により追加でオプションが必要になる場合があります。

主要装備

7連7色LED

システムON中は、LEDが赤色に点滅して周囲にカーセキュリティの装着をアピールします。

警報中の30秒間(初期設定)は、レッド/ブルーが交互に激しく点滅して周囲に異常を知らせます。お好みのLED点滅カラーやLED点滅パターンに設定変更できます。

LED点滅パターン

8種類から選択できます。



レッド



ブルー



ホワイト



グリーン



イエロー



パープル



オレンジ



ランダム

LED点滅カラー

7色とランダムから選択できます。



※画像はイメージです。



2次元コードを読み取ってください。
動画で確認できます。

各種機能

確認音

専用リモコンの各種操作、設定時にメインユニットの内蔵ブザーから「ピッ」、「ピッピッ」など音が鳴ります。

警告音

2段階超音波センサーが小さな動きや弱い衝撃を検知した時に内蔵ブザーと車両ホーンから「ピッピッピッピッ…」と約2秒間鳴り、異常があることを周囲に警告として知らせます。

警報

2段階超音波センサーが大きな動きや強い衝撃を検知した時やワイヤレスドアセンサーがボンネットやトランクのこじ開けを検知した時に内蔵ブザーと車両ホーンから「ビーッビーッビーッビーッ…」と警報音が約30秒間鳴り、7連7色LEDが激しく点滅し、周囲に異常を知らせます。

警報音(内蔵ブザー + 車両ホーン)

内蔵ブザー(最大90dB)と車両ホーンが「ビーッビーッビーッビーッ…」と約30秒間鳴ります。

警報LED

7連7色LEDがレッドとブルーに交互に激しく点滅して周囲に異常を知らせます。



レッド/ブルー交互に点滅

各種機能

異常・故障検知

エンジン始動時に各機能が正常作動していることをLEDの点灯状態で確認できます。LEDは30秒後に消灯します。



機能	正常時	異常時
①電源	青 (点灯)	赤 (点灯)
②車内センサー	青 (点灯)	赤 (点灯)
③バッテリー残量	青 (点灯)	黄 (30～60%)、赤 (0～30%)
④車両ホーン	青 (点灯)	赤 (点灯)
⑤内蔵ブザー	青 (点灯)	赤 (点灯)

注意

●シガープラグ電源ハーネスを使用している場合は、車種により⑤内蔵ブザーの故障・異常検知が正しく表示されない場合があります。直接電源取り出しハーネスに変更してください。(P.26)

ヒント

●センサー ON/OFF の時に「ピッピッピッ」と確認音が鳴る場合は、充電アラート機能 (P.14) が作動しています。2 時間以上の充電をしてから使用してください。

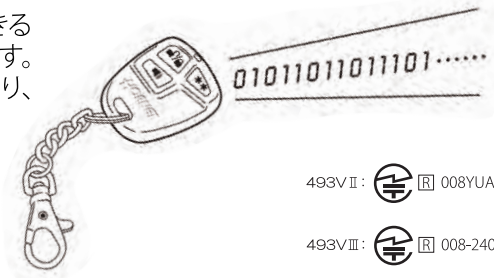
警告

●異常のある状態で使用しないでください。誤作動の原因になります。

各種機能

専用リモコン

システムON/OFFを含む各種操作ができる生活防水タイプのデジタルリモコンです。IDコードは7378京6936兆通り以上あり、操作範囲はおよそ20mです。



493VⅡ:  008YUA080117

493VⅢ:  008-240456

コードホッピング®機能

一度使用したIDコードは二度と使用しない特殊なプログラムでリモコンのIDコードをランダムに変化させIDコードの盗難を防止します。

メモリー機能

操作	確認音	LED
システムON	ピッ	点滅
システムOFF	ピッピッ	消灯
システムOFF (警報あり)	ピッピッピッピッ	30秒間点滅後消灯
システムOFF (8回警報あり) 迷惑防止機能(P.16)	ピッピッピッピッピッ	30秒間点滅後消灯



ヒント

警報履歴を示す LED 点滅は、エンジン始動でリセットできます。

充電アラート機能

専用バッテリーの残量が約30%以下になると、システムON/OFFの時に「ピッピッピッ」と確認音が鳴ってお知らせします。

操作	確認音	LED
システムON	ピッピッピッ	点滅
システムOFF	ピッピッピッ	消灯



ヒント

- 充電アラートが鳴りはじめたら、エンジンを始動して 2 時間以上の充電を行ってから使用してください。

各種機能

スリープモード

スリープモード

専用バッテリーの残量が約20%以下になるとスリープモードになります。スリープモード中は、LEDが消灯しリモコン操作ができません。

メインユニットの  ボタン I を1回（1秒ほど）押すことで復帰します。リモコン操作もしくは強制解除(P.33)でシステムOFFしてください。

ディープスリープモード

専用バッテリーの残量が約10%以下になるとディープスリープモードになります。LEDは消灯しリモコン操作、メインユニットのボタン操作も受け付けなくなります。強制解除(P.33)を実行の上、充電してください。



注意

- スリープモードに入った場合は、必ず強制解除 (P.33) の操作をしてからエンジンを始動して2時間以上の充電をしてください。

セキュリティ保持機能(レジューム)

電源が落ちる前の状態を保持し復帰することができる機能です。



注意

- システム ON にしてから1週間以上経過するとディープスリープモードになっています。エンジン始動すると電源が復帰しシステム ON→イグニッション ON センサー検知→警報となりますので、強制解除 (P.33) によりシステム OFF にしてから乗車してください。
- 保安上、エンジン作動中はリモコンの操作を受け付けません。リモコン操作をする場合は、必ずエンジンが停止している状態で行ってください。



ヒント

- イグニッション ON センサーを作動させない場合は、機能設定メニュー 1、項目番号 4 (P.37) の「イグニッション電源入力」をオールシャント（システム OFF）に設定してください。変更後は、エンジン始動（イグニッション ON）で自動的にシステム OFF になります。

各種機能

迷惑防止機能 (NPC)

近所迷惑などを防止するため、センサーが連続して反応し、警報することを防止する機能です。

システムON中に合計8回警報した場合は、9回目以降は警報しません。



ヒント

システムをOFFにすると迷惑防止機能 (NPC) はリセットされます。

エンジンスターター・ターボタイマー併用機能

純正もしくは市販のエンジンスターターやターボタイマーと併用できます。併用するには、下記の設定を行ってください。



設定方法

下記の設定変更 (P.37) を行ってください。

- 設定メニュー 1、項目番号 3 の「オートシステム ON」を 30 秒に変更します。
- 設定メニュー 1、項目番号 4 の「イグニッション電源入力」をオールシャント (システム OFF) に変更します。

エンジンスターター併用イメージ

- 1 システムON中に純正もしくは市販のエンジンスターターからエンジンを始動します。
- 2 エンジンが作動するとシステムが自動的にOFFになります。
- 3 乗車してください。

ターボタイマー併用イメージ

- 1 エンジンを停止し、ターボタイマーが作動したことを確認します。
- 2 ターボタイマーによるアイドリングが終了してから30秒後にシステムが自動的にONになります。



注意

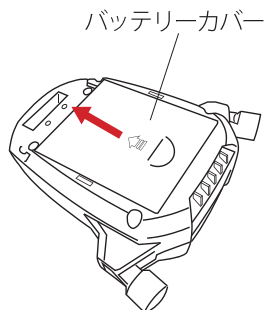
- エンジンスターター・ターボタイマーと併用する場合は、オートシステム ON によりエンジンが停止してから 30 秒後に自動的にシステム ON になります。(P.33)
- エンジンスターター・ターボタイマーと併用する場合は、イグニッション ON センサーは作動しません。不正なエンジン始動の検知による警報はしません。
- アイドリング中はシステム OFF のためセンサーは作動していません。

使用前の準備

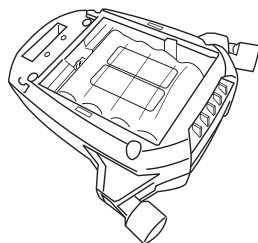
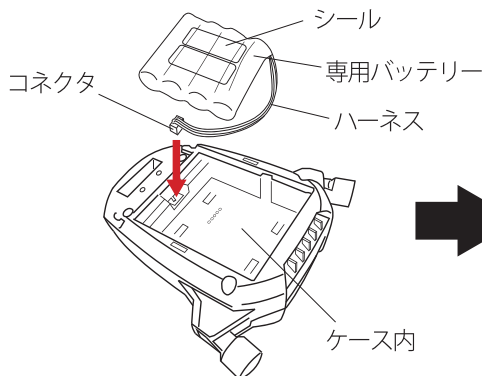
車載対応ニッケル水素バッテリーの設置および接続

使用する前に車載対応ニッケル水素バッテリー（以下、専用バッテリー）をメインユニットに設置および接続してください。

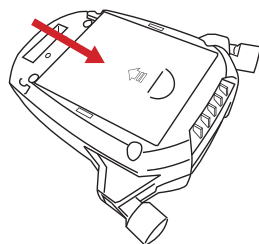
1 メインユニットのバッテリーカバーを押しながらスライドさせて取り外します。



2 専用バッテリーのコネクタを接続し、シールが貼ってある面を上にして、ケース内に配置します。



3 バッテリーカバーをスライドさせて戻します。



⚠ 注意

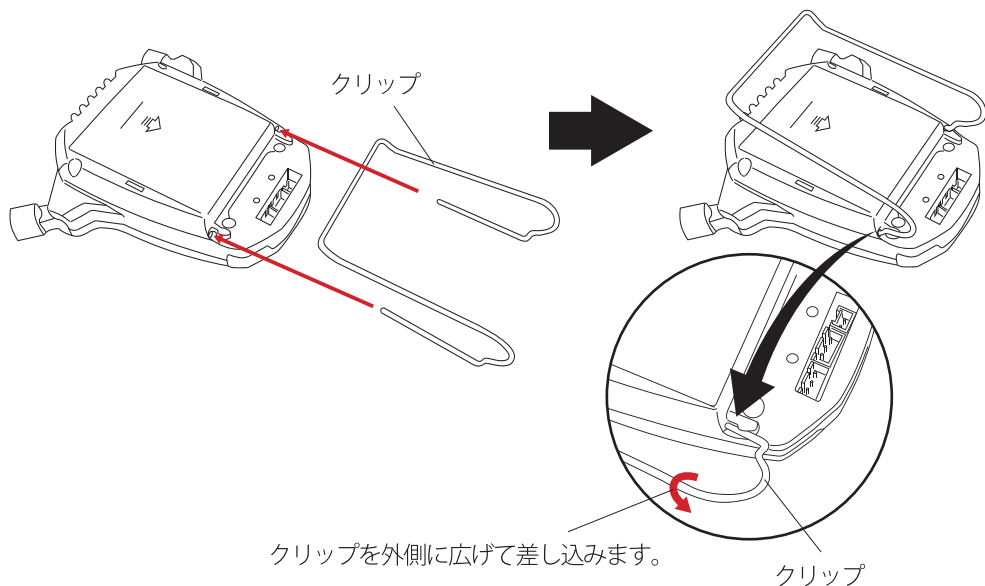
- 専用バッテリーを設置する時は、ハーネスを下側に引き回してください。
- ハーネスを引っ張ったり、強い力を加えないでください。破損する可能性があります。
- 専用バッテリーのコネクタには極性があります。形状に合わせて接続してください。
- 専用バッテリーは消耗品です。使用開始してから3年以内に新品の専用バッテリー（車載対応ニッケル水素バッテリー 604T）に交換してください。
- 安全のため専用のバッテリー以外は使用しないでください。
- 専用バッテリーの交換は、システム OFF の状態で行ってください。システム ON の状態で取り外した場合、専用バッテリーを戻した時にセキュリティ保持機能（P.15）により警報する場合があります。

使用前の準備

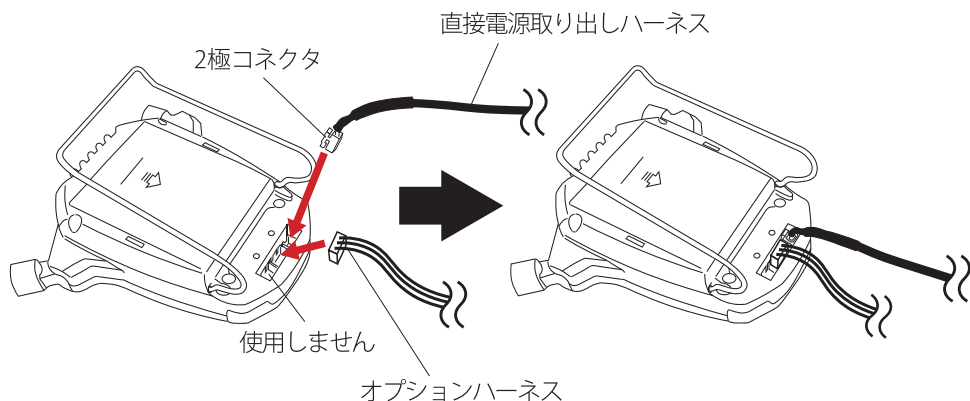
サンバイザー設置用クリップとハーネスの接続

サンバイザー設置用クリップ (以下クリップ) と直接電源取り出しハーネスとオプションハーネスを下記のように接続してください。

- 1 クリップは、メインユニットに差し込まれています。
メインユニット設置時に使用しますので外さないでください。
※外した場合は、下記の図のように差し込み直してください。



- 2 直接電源取り出しハーネスの2極コネクタとオプションハーネスの3極コネクタをメインユニットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。



取り付け方法

取り付け全体イメージ

メインユニットを助手席側のサンバイザーに固定し、直接電源取り出しハーネスをAピラーに沿わせながら引き回しイグニッション (IGON) 電源とボディアースに接続します。



ヒント

- ハーネスを引き回す際は、インシュロックなどで固定するなど車両のパーツや配線に影響がないように行ってください。作業が困難な場合は、お近くのホーネット取扱店にご依頼ください。



注意

- 盗難発生警報装置（保安基準適合）としてご使用になる場合は、必ず直接電源取り出しハーネスを使用して取り付けしてください。
- ワンタッチカーセキュリティとしてご使用になる場合は、直接電源取り出しハーネスもしくはシガープラグ電源ハーネスを使用して取り付けしてください。

取り付け方法

メインユニットの固定と車内センサーマイクの調整

1 助手席のサンバイザーにクリップで挟み込むようにメインユニットを固定します。



ヒント

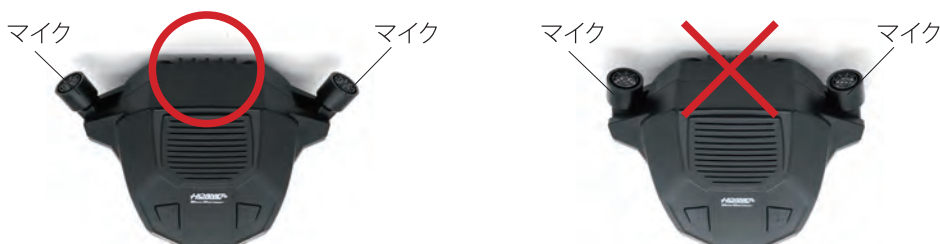
メインユニットの7連7色LEDがフロントガラス側になるように設置してください。



注意

- 運転の妨げにならないように助手席側のサンバイザーに固定してください。
- クリップを無理に押し込まないでください。サンバイザーを傷つける恐れがあります。
- クリップの挟み込みによる凹み跡が残る場合があります。あらかじめ接触部分に付属のスポンジテープや市販のタオル等で保護してください。
- サンバイザーの素材により摩擦力が少なくメインユニットが落下する恐れがあります。付属のスポンジテープを接触部分に貼るなど滑り止めとして使用してください。

2 車内センサーのマイクの向きを調整します。 マイクが向き合わないように広げてください。



注意

- マイクを広げすぎると車内センサーが検知できない場合があります。

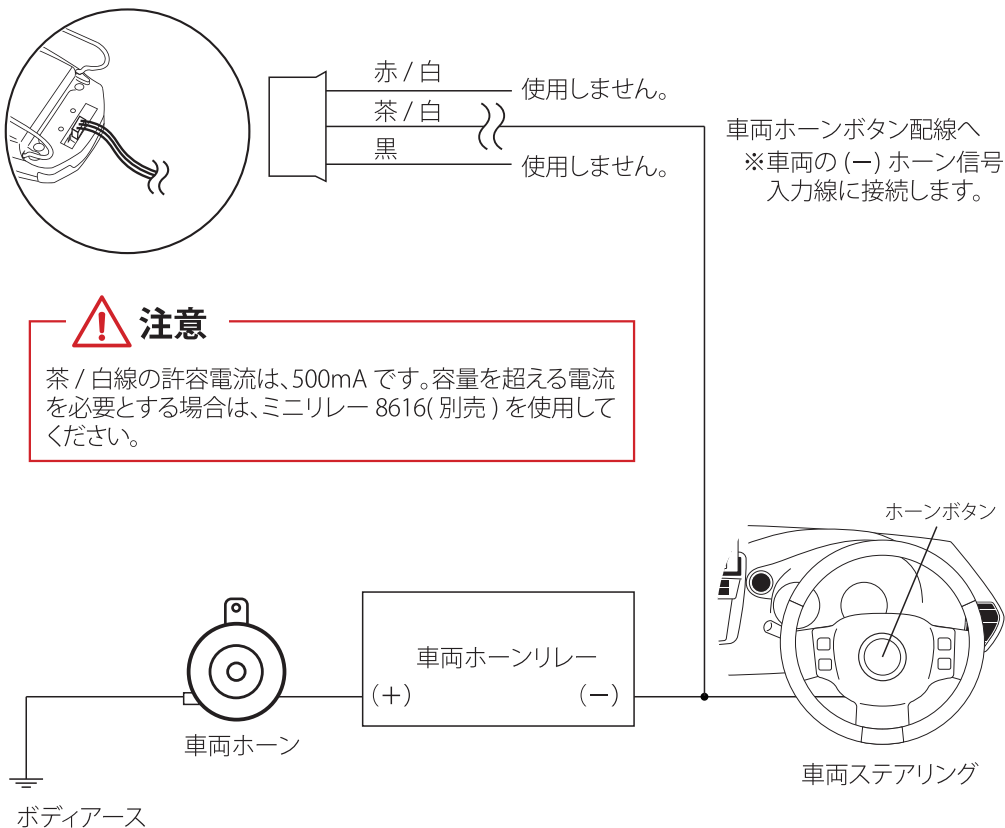
3 直接電源取り出しハーネスを車両Aピラーに沿うように引き回します。

取り付け方法

車両ホーンへの接続(オプションハーネス茶/白線)

4 付属のオプションハーネスを使用して車両ホーン配線に結線します。

【マイナスコントロール車 接続例】



注意

- 車両ホーン配線は、ほとんどの場合がマイナスコントロールですが、取得箇所や車種によりコントロール方式が異なる場合は、アップグレードオプションのミニリレー 8616 を別途お買い求めください。詳しくは、ホーネット販売店・取付店へお問い合わせください。
- 使用しない配線は、絶縁処理してください。
- 別売のシングルトーンバックアップサイレン 515B を接続することで警報音を最大 128dB の大音量にできます。また、オプションハーネスの断線検知や車両バッテリー切断検知も可能になります。詳しい接続方法は 515B 付属の説明書をご参照ください。

取り付け方法

スターター停止機能の接続 (オプションハーネス赤/白線)

本機能を使用するには、下記項目の設定変更 (P.37参照) を行ってください。

- ・機能設定メニュー 1、項目 5「チャンネル 2 出力」を「常時」に変更してください。
- ・機能設定メニュー 1、項目 6「チャンネル 2 リンク」を「システム ON」に変更してください。
- ・機能設定メニュー 1、項目 7「チャンネル 2 リセット」を「システム OFF」に変更してください。

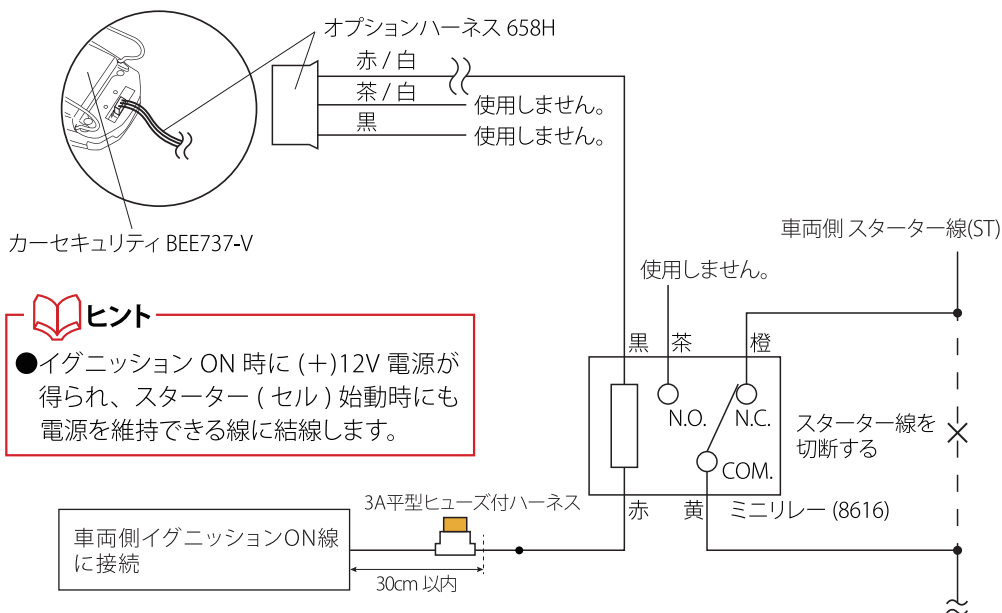


注意

- コンビニモード、消音機能 (P.32) との併用はできません。
- 2 段階超音波センサーの警報の感度調整を行う場合は、一旦機能設定メニュー 1、項目 5「チャンネル 2 出力」を「ボタン押し中」に戻してください。

5-1 システムON中にエンジン始動ができないように結線します。

【スターター (ST) 線にアクセスできる車両 接続例】



注意

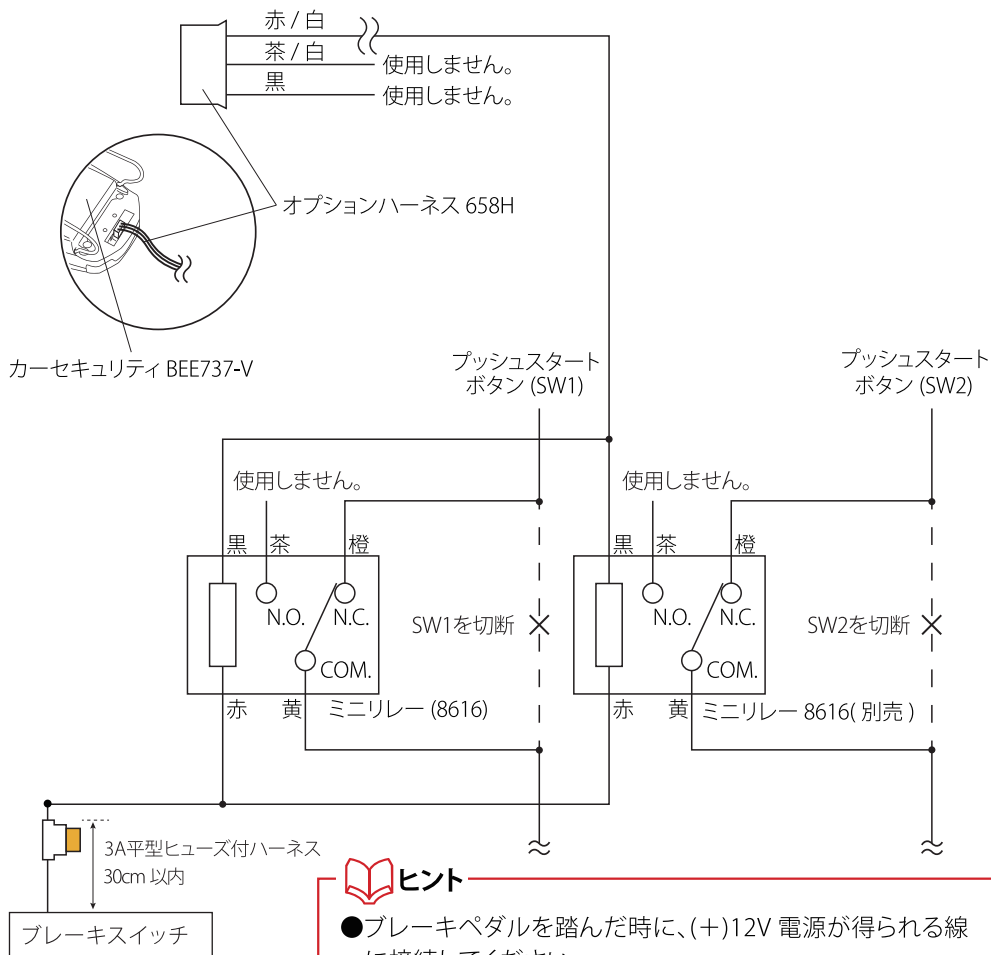
- 本製品の取り付けに際し、他の機器、特に駆動部の妨げにならないように注意してください。
- 本製品の取り付けにより、万一車両が故障、破損しても当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 使用しない配線は、絶縁処理してください。
- 車種によっては別途オプションが必要になる場合があります。

取り付け方法

スターター停止機能の接続(オプションハーネス赤/白線)

5-2 システムON中にエンジン始動ができないように結線します。

【プッシュスタートボタン(SW1、SW2)線にアクセスできる車両 接続例】



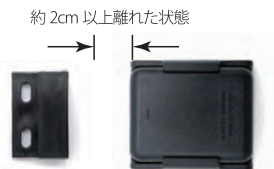
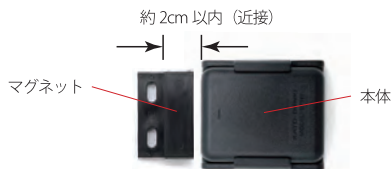
注意

- SW2 を切断するにはオプションのミニリレー (8616) を別途お買い求めください。
- 取り付け時、他の機器や駆動部の妨げにならないように注意してください。
- 取り付けをされた際に、万一車両が破損しても当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 使用しない配線は、絶縁処理してください。

取り付け方法

ワイヤレスドアセンサーの取り付け

ボンネットやトランク、ドアなどの開閉を検知することができるマグネットスイッチ型のワイヤレスセンサーです。マグネットがワイヤレスドアセンサー本体（以下本体）から約 2cm 離れた状態または近づいた状態を検知して信号を無線で送信します。（送信範囲約 20m）



設定方法 電池カバーとボタン電池を取り除いた上部のディップスイッチで設定変更可能



【検知方法】

【設定 A】

マグネットが本体と約 2cm 未満に近接している状態から約 2cm 以上離れた時に検知します。

【設定 B】

マグネットが本体から約 2cm 以上離れた状態から約 2cm 未満に近接した時に検知します。



【送信回数】

【設定 1】

検知時に登録済み製品に異常信号を 1 回送信します。

【設定 8】

検知時に登録済み製品に異常信号を 8 回送信します。



ボタン電池設置手順

⊕ネジを回し電池蓋を取り外して、付属のボタン電池（CR2450×1 個）を設置してください。

①電池蓋の⊕ネジを外します。

②電池蓋を外します。

③ボタン電池を設置します。

④電池蓋を元に戻し⊕ネジを締めます。



⚠ 注意

- 電池蓋は、⊕ネジで止まっています。精密ドライバーを使用して取り外してください。
- 付属のボタン電池は、動作テストで使用しています。消耗品のため使用できる期間に差があります。
- 電池が消耗している場合、検知時に I D 登録済みカーセキュリティ製品の確認音でお知らせします。「ピピピピピピピピピピ」と確認音が 6 回鳴ります。新品のボタン電池の交換時期は、およそ 2 年です。

ホルダーの設置手順

①本体用ホルダーを付属の両面テープと鉄板ビスで車両に固定します。

②本体をスライドさせます。

③本体用ホルダーに本体をはめ込みます。

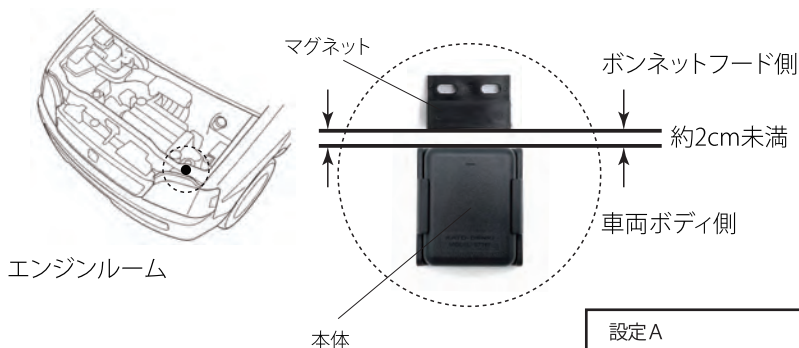


取り付け方法

ワイヤレスドアセンサーの取り付け

ボンネットの開閉を検知する場合

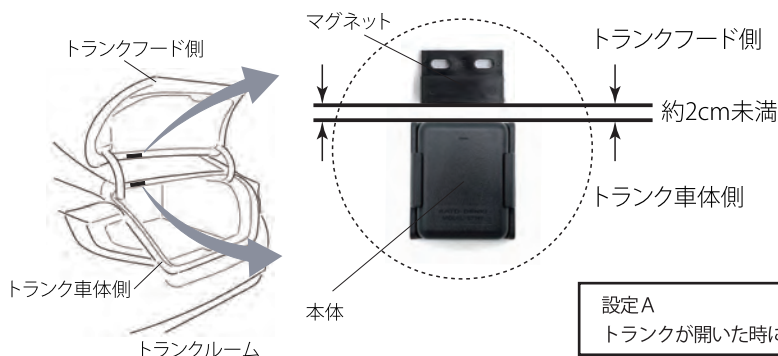
ボンネットが閉まっている時に本体とマグネットが約2cm未満になるように取り付けします。



設定A
ボンネットが開いた時に検知します。

トランクの開閉を検知する場合

トランクが閉まっている時に本体とマグネットが約2cm未満になるように取り付けします。



設定A
トランクが開いた時に検知します。

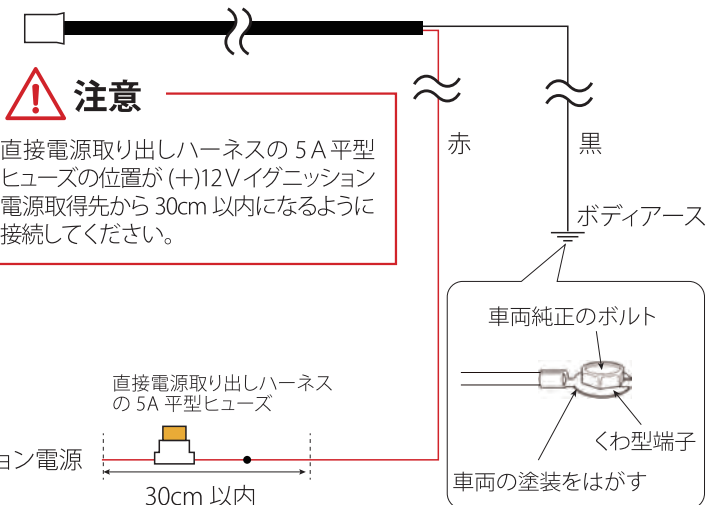
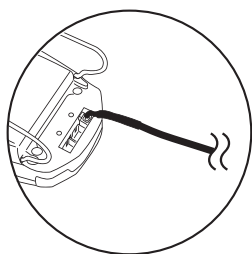
⚠ 注意

- 必ず可動する側にマグネットを固定してください。
- 粘土などでトランクやボンネットを閉めた状態での可動範囲を把握し約 2cm 未満に近接するように調整してください。接触して破損、固定位置のズレが発生しないようにしてください。
- 本体用ホルダー、マグネットは、付属両面テープやビスで確実に固定してください。
- ビスで固定する際は、車両側の固定場所、厚み、素材など確認の上、作業してください。万一、破損、貫通などが発生しても当社では一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 固定位置が金属の場合は、マグネットと金属との間隔を両面テープなどで確保して磁力低下を防ぐなどの処理を施してください。
- 本製品は、-40℃～+85℃の動作を保証していますが、熱源（エンジン本体、排気系部品など）から 30cm 以上離れた高温にならないところに取り付けしてください。
- 本製品は、防塵防水設計ですが直接雨水がかかる場所は避けて取り付けしてください。

取り付け方法

直接電源取り出しハーネスの接続

6-1 直接電源取り出しハーネスの赤線を(+)12Vイグニッション電源に接続します。黒線をボディアースに接続します。



ヒント

- 車両キーを OFF→イグニッション ON (IGON) の位置まで回した時に (+)12V 電源、5A 以上の電流が得られる線に接続してください。



注意

- 赤線は必ず (+)12V イグニッション電源に接続し、アクセサリ電源には接続しないでください。また車種によってはイグニッション電源に種類があります。エンジン始動時に 0V に短絡せず 12V を保持できる線に接続してください。

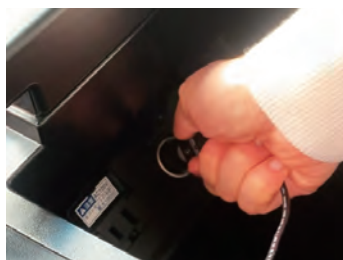
シガープラグ電源ハーネスの接続

6-2 シガープラグを車両のシガーソケットに差し込みます。



注意

- 電源の取得方法は直接接続かシガープラグによる接続方法の 2 種類があります。
- シガープラグ電源ハーネスは取り外しが容易なため、保安基準を満たすには直接電源取り出しハーネスを使用してください。



※画像はイメージです。

取り付け方法

専用バッテリーの充電

- 6** メインユニットの  ボタン I を 5 秒以上押し続けます。
「ピーーッ」とブザー音が鳴りメインユニットの主電源ONになります。

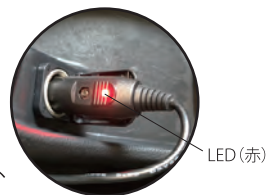
⚠ 約 70dB の大きな音が鳴りますので注意してください。**⚠**

- 7** エンジンを開始して本製品の専用バッテリーを充電してください。



ヒント

- エンジンを開始すると故障・異常検知 (P.13) により LED が 30 秒点灯します。
- シガープラグ電源ハーネスは、LED が赤色に点灯します。
- はじめてご使用になる時は、2 時間以上充電してください。
- 本製品は、お買い上げの時にはテスト用に充電しておりますが、ご使用前には必ず充電を行ってください。



- 8** 充電が完了したら、エンジンを停止します。



ヒント

- 本製品は、お買い上げの時にはテスト用に充電されておりますが、ご使用前には必ず充電を行ってください。
- はじめてご使用になる時や、バッテリーが消耗した時は、エンジンをかけて 2 時間以上充電してください。1 時間の充電でも使用できますが、満充電にはなりません。充電は断続的に行うことができますが、その場合は 3 時間以上充電してください。



注意

- 専用バッテリーが放電した状態から満充電の状態になるには、およそ 3 時間の充電が必要です。満充電になった場合、自動的に充電は終了します。
- 本製品は、0℃～55℃以外の環境下では充電を行いません。
- 満充電で約 7 日間のご利用が可能です。検知回数が多い場合などの条件によっては期間が短くなります。
- 専用バッテリーの寿命は約 3 年です。寿命を超えてご使用された場合は、満充電しても極端にご利用期間が短くなります。新しい専用バッテリーをお買い求めください。
- 5 日間以上充電していない場合は、最低 1 時間以上充電してからご利用ください。
- 長時間本製品を使用しない場合には、本製品を車両から取り外し、専用バッテリーを外した状態にしてください。
- 専用バッテリーを破棄する場合には、各地方自治体の指示に従ってください。

基本的な操作方法

リモコンのボタンについて

LED(赤) ※操作時点灯します。



システム ON
システム OFF



パニックモード
サイレントモード



(一) チャンネル 2

リモコン 493VⅡ、493VⅢ
(特定小電力リモコン)

その他の操作



システム ON/OFF
消音機能



コンビニモード



ヒント

- リモコンのボタンは、押し続けられることを防止するために時間の制限を設けています。
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものです。消耗品のため、ご購入後に使用できる期間に差があります。電池が消耗している場合には、新しい電池をお買い求めください。
(電池：CR2032×1)
- 新品のボタン電池で1年ほどリモコンを使用することができます。※使用頻度で変動します。

メインユニットのボタンについて

ボタンⅠ



主電源 ON
システム ON
設定変更



ボタンⅡ



強制解除
設定変更
モード切替

基本的な操作方法

システムON

操作方法

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 車両から降りてすべてのドアを閉めます。
- 3 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 4 「ピッ」と確認音が鳴りシステム ON になります。
- 5 システム ON 中は、LED が点滅します。



点滅（レッド）

ヒント

- LED の点滅カラーの初期設定はレッドです。お好みの点滅カラーに変更することができます。（P.11 および P.38 参照）
- 確認音が「ピッピッピッ」と3回鳴る場合は、充電アラート機能（P.14）が作動しています。内蔵の専用バッテリー残量が少ないことを示しています。充電してください。

システムOFF

操作方法

- 1 システム ON 中にリモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 2 「ピッピッ」と確認音が2回鳴りシステム OFF になります。
- 3 LED は消灯します。



ヒント

- 「ピッピッピッピッ」と確認音が4回鳴った時は、システム ON 中に警報したことを示しています。「ピッピッピッピッピッ」と確認音が5回鳴った時は、システム ON 中に8回警報したことを示しています。（P.14 および P.16 参照）
- 警報中にシステム OFF 操作を行うと警報が止まります。もう一度システム OFF 操作してください。
- 確認音が「ピッピッピッ」と3回鳴る場合は、充電アラート機能（P.14）が作動しています。内蔵の専用バッテリー残量が少ないことを示しています。充電してください。

基本的な操作方法

2段階超音波センサーの動作チェック(動き・振動・衝撃)

車内で人が動いた時(車内侵入)に警報することを確認します。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 システム ON にします。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 3 車内で小さめに動きます。
----- 運転席、助手席エリア、リア左右、バックドアエリアの確認をしてください。-----
- 4 「ピピピピピ」と内蔵ブザーと車両ホーンから警告音が鳴ることを確認します。
- 5 車内で大きく動きます。
----- 運転席、助手席エリア、リア左右、バックドアエリアの確認をしてください。-----
「ビーッビーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
- 6  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 7  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF にしてください。



注意

風が入り込まないように窓や外気口を閉めてください。



注意

- 警報音が高音量で鳴りますので注意してください。不用意に人やペットの近くで動作チェックしないでください。聴覚障害になる恐れがあります。



ヒント

- 車内で動いても警報音が鳴らない、または警報しない場合は、2 段階超音波センサーの感度調整を行ってから、もう一度確認してください。(P.36)

車両に振動・衝撃を加えて警報することを確認します。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 車両から降りてすべてのドアを閉めます。
- 3 システム ON にします。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 4 ドアガラスに弱めの衝撃を加えてください。
----- 運転席、助手席、リア左右、バックドアのガラスの確認をしてください。-----
- 5 「ピピピピピ」と内蔵ブザーと車両ホーンから警告音が鳴ることを確認します。
- 6 ドアガラスに強めの衝撃を加えてください。
----- 運転席、助手席、リア左右、バックドアのガラスの確認をしてください。-----
「ビーッビーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
- 7  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 8  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF にしてください。



ヒント

振動や衝撃を加えても警報音が鳴らない、または警報しない場合は、感度調整 (P.36) を行ってから、もう一度確認してください。



注意

- 振動や衝撃を加える際は、ガラスにタオルなどを当てて保護した状態で行ってください。ガラスが割れるなどの損害が発生しても、当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 車体やボディーなどに衝撃を加えると凹む可能性があります。注意してください。

基本的な操作方法

2段階超音波センサーの動作チェック(ドア開け)

ドア開けで警報することを確認してください。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 車両から降りてすべてのドアを閉めます。
- 3 システム ON にしてください。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 4 ドアを開けて「ピーッピーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
----- 運転席、助手席、リア左右、バックドアの確認をしてください。-----
- 5  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 6  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF にしてください。



ヒント

ドアを開けても警報しない場合は、
2 段階超音波センサーマイクの向きを
調整してください。(P.20)

イグニッションONセンサーの動作チェック

イグニッションON (IGON) で警報することを確認してください。

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 システム ON にしてください。
----- 5 秒間待ちます。-----
- 3 イグニッション ON で「ピーッピーッ・・・」と 30 秒間警報することを確認してください。
- 4 イグニッション OFF にしてください。
- 5  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押して警報を止めてください。
- 6  ボタンをもう 1 回 (1 秒ほど) 押してシステム OFF にしてください。



注意

- イグニッション ON 中は、警報は止められますがシステム OFF できません。必ずエンジンを停止してからシステム OFF の操作 (P.29) をしてください。

パニックモード(強制警報)

リモコン操作で強制的に警報を鳴らすことができます。不審者が近くにいる場合や緊急時に異常を周囲に知らせる場合の防犯機能です。

操作方法

- 1 システムONにします。
- 2 リモコンの  ボタンを 3 秒以上押し続けます。
- 3 警報音が鳴ると同時にLED (グリーン) が点滅します。



ヒント

- パニックモードは、システム ON 中のみ使用できます。システム OFF では使用できません。
- 警報は 30 秒後に自動的に止まりますが、警報中にもう一度  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押すことで警報が止まります。



点滅 (グリーン)

応用的な操作方法

2段階超音波センサーをキャンセルしてシステムON (コンビニモード)

幹線道路周辺やコンビニなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコンで2段階超音波センサーをキャンセルしてシステムON できます。

操作方法

- 1 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押してシステムON します。
- 2 3秒以内に  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 「ピッピッピッ」と確認音が鳴り、2段階超音波センサーがキャンセルします。



ヒント

- コンビニモードは、システムOFF にするとリセットします。



注意

- スターター停止機能 (P.10) と併用できません。

確認音を鳴らさずにシステムON/OFF (消音機能)

操作方法

- 1 リモコンの  ボタンを1回 (1秒ほど) 押します。
----- 2秒以内 -----
- 2  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 確認音は鳴らさずにシステムON/OFF できます。



ヒント

- 深夜など確認音を鳴らしたくない時に便利な機能です。



注意

- スターター停止機能 (P.10) と併用できません。

応用的な操作方法

オートシステムON

エンジン停止してから設定した時間に自動的にシステム ON することができます。

操作方法

- 1 すべての窓を閉めてエンジンを停止します。
- 2 LEDのカウントダウン点滅（レッド）が始まります。
- 3 車両から降り、すべてのドアを閉めます。
- 4 設定時間後に「ピッ」と確認音が鳴り、システム ON になります。



カウントダウン点滅
（レッド）



ヒント

- 機能設定メニュー 1、項目 3「オートシステム ON」を「30 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分」のいずれかに設定変更してください。(P.37)



注意

- エンジンを停止してから設定した時間よりも遅く降車した場合は、2 段階超音波センサーが人の動きを検知して警報します。

強制解除

リモコン紛失など何らかの理由でシステムOFFができなくなった時に強制的にシステムをOFFにすることができます。

操作方法

- 1 イグニッションON (IGON) にします。
----- 5 秒以内 -----
- 2 メインユニットの  ボタンⅡを 3 回 (1 秒ほど) 押します。
- 3 「ピッピッピッピッ」と確認音が鳴りシステムOFFになります。



ヒント

- イグニッション ON (IGON) の方法は、車種により異なります。詳しくは車両付属の取扱説明書をご参照ください。
-  ボタンⅡを押す回数を 3 回（初期設定）から 1 ～ 8 回に設定変更できます。(P.37)
- 強制解除の操作を間違えた場合は、最初からやり直してください。

応用的な操作方法

リモコンを使わないシステムON/OFF (メインユニットのボタン)

リモコンを使わずにシステムON/OFFを行う方法です。リモコンを携帯したくない場合に便利な機能です。

システムONの操作方法

- 1 すべての窓を閉めて、エンジン停止します。
- 2 メインユニットの  ボタン I を 1 回 (1 秒ほど) 押します。
- 3 「ピッ」と確認音が鳴り、システム ON (センサー作動 15 秒前) します。
- 4 15 秒以内に降車してドアを閉めます。
- 5 センサーが作動します。



設定方法

- 機能設定メニュー 1 の項目番号 1 「警報開始遅延時間」を「5 秒 / 15 秒 / 30 秒 / 1 分 / 3 分 / 10 分 / 15 分」のいずれかに変更します。項目番号 4 「アクセサリ電源入力」を「オールシャント (システム OFF)」に変更します。(P.37)

! 注意

- システム ON してから 15 秒以内に降車できない場合は、2 段階超音波センサーが車内の動きを検知して警報します。

システムOFFの操作方法

- 1 ドアを開けて「警報開始遅延時間」で設定した時間以内にエンジン始動します。
- 2 「ピッピッピッピッ」と確認音が鳴り、システム OFF になります。

! 注意

- 乗車する際に、2 段階超音波センサーがドア開けや人の動きを検知します。警報は設定した時間遅延しますが、警告音や LED はレッドとブルーが交互に点滅します。メモリー機能 (P.14) は、システム OFF (警報あり) となります。

応用的な操作方法

セキュリティモード⇄サイレントモード

本製品は、2つのモードがあります。切り替えて使用することができます。

セキュリティモード(初期設定)

警告、警報時に内蔵ブザーと車両ホーンが鳴動、LEDが点滅するモードです。

モード切替方法(サイレントモード⇒セキュリティモード)

- 1 システム OFF にします。
- 2 メインユニットの  ボタンⅡを5秒以上押し続けます。
- 3 「ピーーッピーーッ」と確認音が2回鳴りセキュリティモードになります。



ヒント

- セキュリティモードに戻ると機能設定メニュー1、2共に初期設定(P.37～38)になります。設定変更していた場合は、再度変更し直してください。

サイレントモード

警告、警報時に内蔵ブザーは鳴らず、車両ホーンのみ鳴動、LEDが点滅するモードです。

モード切替方法(セキュリティモード⇒サイレントモード)

- 1 システム OFF にします。
- 2 メインユニットの  ボタンⅡを5秒以上押し続けます。
- 3 「ピーーッ」と確認音が1回鳴りサイレントモードになります。



ヒント

- サイレントモードは、自動的に機能設定が下記に変更されます。
 - ・設定メニュー1、項目3の「オートシステムON」→5分
 - ・設定メニュー2、項目2の「LED点滅カラー」→ブルー
 - ・設定メニュー2、項目3の「内蔵ブザーの音量」→小(約70dB)
 - ・設定メニュー1、項目4「イグニッション電源入力」→オールシャント(システムOFF)
- システムON中にエンジン始動(イグニッションON)するとシステムOFFになります。



注意

- パニックモード(P.31)は使用できません。
- イグニッションONセンサー、スターター停止機能(P.10)は使用できません。

操作方法

- 1 エンジン停止後にブザー音が鳴り、LEDがグリーン点滅を開始します。
- 2 リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押すとブザー音を止まりLEDがレッド点滅に変わります。
- 3 およそ5分後に「ピッ」と確認音が鳴りサイレントモードでシステムONになります。

機能設定方法

2段階超音波センサーの感度調整方法

リモコン操作から車内センサーの感度調整が16段階(0～15)で設定できます。
警告感度、警報感度それぞれ独立して調整できます。

警告感度調整(初期設定:10)

警報感度調整(初期設定:3)

①システムOFFにします。

①システムONにします。



②5秒以内にリモコンの ****** ボタンを3秒以上押します。

③「ピーーッ」と確認音が鳴り、感度調整モードに入ったことを示します。

④5秒以内に下記の感度調整を行ってください。

感度調整モード

オススメ感度:警告(5)、警報(5)

ボタンもしくは ****** ボタンを押して感度の変更を行います。

感度を下げる場合(最小0)

感度を上げる場合(最大15)



ボタンを押す(1秒ほど)たびに
「ピッ」と確認音が鳴り、感度が
一段階下がります。

****** ボタンを押す(1秒ほど)たびに
「ピッピッ」と確認音が鳴り、感度が
一段階上がります。

⑤お好みの感度調整後、ボタンを離し5秒以上経過すると「ピッピーー」と確認音が鳴り設定が完了します。



ヒント

- 感度レベル0(最小)と15(最大)の時は「ピーー」と確認音が鳴ります。
- 感度レベル0の時は、車内センサーは検知なくなります。
- メインユニットのLEDの点滅回数の変化により感度レベルを視覚的に確認することができます。

※警告感度調整モード:LED(ブルー)

※警報感度調整モード:LED(グリーン)



二次元コードから
動画で確認できます。

機能設定メニュー 1

項目番号	設定項目	確認音	 ボタン 確認音“ピッ”	 ボタン 確認音“ピッピッ”→“ピッ× 3 回” →“ピッ× 4 回”→“ピッ× 5 回” →“ピッ× 6 回”→“ピッ× 7 回”
1	警報開始遅延時間	ピッ× 1 回	OFF	5秒/15秒/30秒/1分/3分/10分/15分
2	警報時間	ピッ× 2 回	5秒	10秒/30秒/1分
3	オートシステムON	ピッ× 3 回	OFF	30秒/1分/5分/10分/15分
4	イグニッション電源入力	ピッ× 4 回	センサー	オールシャント (システムOFF)
5	チャンネル2出力	ピッ× 5 回	ボタン押し中	30秒/3分/30分/60分/常時
6	チャンネル2リンク	ピッ× 6 回	OFF	エンジン停止/エンジン始動/警告/ 警報/システムON/システムOFF
7	チャンネル2リセット	ピッ× 7 回	OFF	エンジン停止/エンジン始動/警告/ 警報/システムON/システムOFF
8	強制解除ボタン設定	ピッ× 8 回	1	2/3/4/5/6/7/8

1. 警報開始遅延時間

センサーが検知してから警報するまでの時間を設定変更できます。

2. 警報時間

警報(警報音+LED点滅)する時間を設定変更できます。

3. オートシステムON

エンジン停止してから自動的にシステムONする時間を設定変更できます。

4. イグニッション電源入力

防犯重視のイグニッションONセンサー(P.10)かエンジンスターター併用など
利便性重視のオールシャント(システムOFF)に設定変更できます。

5. チャンネル2出力(オプション)

オプションハーネス(オプション)接続時に赤/白線から出力する時間を設定変更できます。

6. チャンネル2リンク(オプション)

オプションハーネス(オプション)接続時に赤/白線から出力する方法をリモコン操作以外
に追加できます。

7. チャンネル2リセット(オプション)

オプションハーネス(オプション)接続時に赤/白線から出力した後、停止する方法を設定
できます。

8. 強制解除ボタン設定

強制解除するための  ボタンの押し回数を変更できます。

機能設定方法

機能設定メニュー 1 の設定変更

設定変更方法 ※システムOFFの状態で行ってください。

- ①専用リモコンの  ボタンを 1 回 (1秒ほど) 押してシステムONにします。
- ②専用リモコンの  ボタンを 1 回 (1秒ほど) 押してシステムOFFにします。
- ③5秒以内に  ボタンと  ボタンを同時に押し続けます。
- ④「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」・・・とブザー音の回数とLED点滅数で項目番号を確認します。
- ⑤設定変更したい項目番号でボタンを離します。
- ⑥ 5 秒以内に  ボタンもしくは  ボタンを押して確認音の回数を確認し、好みの設定を選択します。
- ⑦選択が完了したらボタンを押さずに10秒間待ちます。
- ⑧「ピッピーツ」と確認音が鳴り設定が完了します。

機能設定メニュー 2

項目番号	設定項目	確認音	 ボタン I 確認音“ピッ”	 ボタン II 確認音“ピッピッ”→“ピッ× 3 回” →“ピッ× 4 回”→“ピッ× 5 回” →“ピッ× 6 回”→“ピッ× 7 回”
1	LED点滅パターン	ピッ× 1 回	<u>タイプ A</u>	タイプ B/C/D/E/F/G/H
2	LED点滅カラー	ピッ× 2 回	<u>レッド</u>	ブルー/ホワイト/グリーン/オレンジ/ パープル/イエロー/ランダム
3	内蔵ブザーの音量	ピッ× 3 回	小(約70dB)	中(約80dB)/ <u>大(約90dB)</u>
4	内蔵ブザー音量 (サイレントモード時)	ピッ× 4 回	<u>リズム A</u>	リズム B/リズム C

設定変更方法 ※システムOFFの状態で行ってください。

- ①メインユニットの  ボタン I と  ボタン II を同時に押し続けます。
「ピーッピッ」「ピーッピッピッ」・・・と確認音が鳴り設定項目番号が進みます。
- ②設定したい項目番号の確認音が鳴り終わった後、ボタンを離します。
- ③  ボタン I もしくは  ボタン II を押して好みの設定を選択します。
- ④選択が完了したらボタンを押さずに10秒間待ちます。
- ⑤「ピッピーツ」と確認音が鳴り設定が完了します。

電池の交換方法

リモコンの電池交換方法

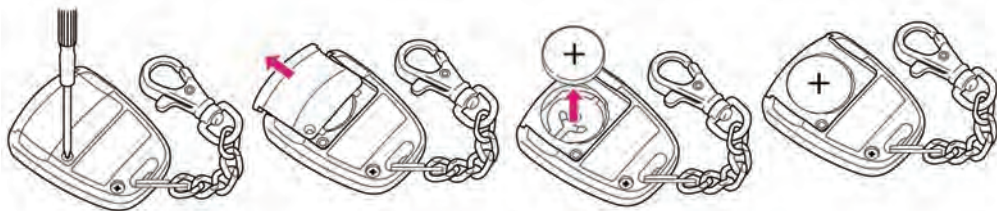
リモコンの電池が消耗した場合は、市販の「CR2032」型のボタン電池に交換してください。

①電池蓋のビスを外します。

②電池蓋を矢印の方向にスライドさせます。

③古い電池をリモコンから外します。

④新しい電池を入れます。



⑤電池蓋を元に戻しビスを止めます。



ヒント

- ⊕の精密ドライバーを使用してください。
- 電池の極性に注意してください。(+) 極が上です。



注意

- 電池交換の際は、リモコンケースを傷つけないように十分注意してください。
- あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した乾いた手で行ってください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が入らないように十分注意してください。
- 不要になった電池は、必ず自治体指定の方法で廃棄してください。

製品仕様

型式	BEE737-V
電源電圧	国産DC12V車電源専用
専用バッテリー	4.8V/1,100mAh (車載対応ニッケル水素バッテリー)
警報音圧	最大90dB (約70dB、約80dB、約90dBから選択可能)
平均消費電流(待機時)	約2mA
平均消費電流(警戒時)	約5mA
平均消費電流(警報時)	約9mA
本体動作保証温度	約-40℃～+85℃
専用バッテリー動作保証温度	約-40℃～+85℃
推奨充電温度	約0℃～+50℃
メインユニット外形寸法	約W111×D111×H38mm
質量	約250g (専用バッテリー、サンバイザー設置用クリップ含む)

493VⅡ:  008YUA080117

493VⅢ:  008-240456

Q&A、トラブルシューティング

Q&A

質問	回答
専用バッテリーの交換時期は、いつですか？	使用頻度にもよりますが、専用バッテリー（604T）は、およそ3年間使用できます。3年以内に新品に交換することをおすすめします。
リモコンを追加できますか？	リモコン（493VⅡまたは493VⅢ）は、最大4個まで登録できます。
リモコンのボタン電池はどれくらいの期間使えますか？	新品のボタン電池（CR2032）で約1年使用できます。リモコン付属の電池は出荷前試験で使用しています。必要に応じて新品の電池に交換してください。
2段階超音波センサーは、大型ミニバンやSUV車のドア開けを検知できますか？	2段階超音波センサーの検知範囲は、およそ4mです。4m以内であればバックドアの開閉も検知できます。
ボンネットやトランクのこじ開けも検知できますか？	ワイヤレスドアセンサー（571W）を追加、取り付けすることで検知できます。
ワイヤレスドアセンサー（571W）は何個まで追加できますか？	最大4個（付属の1個を含む）登録できます。
24Vの車両にも使用できますか？	使用できます。別売の24V用DCDCコンバーター（BEE-24DC）を追加してください。

トラブルシューティング

症状と原因	対策
リモコンの操作ができません	・リモコンの電池を交換してください。電池残量が少ない可能性があります。 ・近くに電波塔など強い電波が出ている場合、操作ができない時間帯があります。時間を空けたり、場所を移動して操作してください。
2段階超音波センサーが反応しません	・感度を確認してください。（P.36） ・2段階超音波センサーマイクの向きを調整してください。（P.20）左右に大きく広げ過ぎるとセンサーが検知できない場合があります。 ・マイクにほこりやゴミが混入している場合は、綺麗に取り除いてください。
2段階超音波センサーの警報感度の調整ができません	・スターター停止機能用の設定および注意をご確認ください。（P.22） ・2段階超音波センサーの感度調整を行う場合は、一旦機能設定メニュー1、項目5「チャンネル2出力」を「ボタン押し中」に戻してください。
何も無いのに警報音が鳴ります	・すべての窓を開けてください。2段階超音波センサーが空間の変化を検知しています。 ・2段階超音波センサーのマイク部付近に動くモノがあります。取り除いてください。 ・外気口から入る風を検知している可能性があります。エアコンを内気にしてください。 ・感度を下げてください。（P.36）トラックなど大型の車両が通過した際の振動を検知している可能性があります。
エンジン始動できません	・システムON/OFF操作を（P.29）行ってからエンジンを始動してください。 ・車両バッテリーの電圧が下がっている可能性があります。充電してください。車を購入された販売店にお問い合わせしてください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理いたします。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理いたします。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用いただけるサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへのユーザー登録をお勧めします。
- 製品保証2年（一般）、5年（プレミアム）など充実したサポートをお約束します。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお願いします。詳しくは下記URLをご参照ください。

<https://shop-security-lounge.com/shopdetail/000000000080/>



保証書について

- 保証書は本書に添付しております。ご購入の際は大切に保管してください。保証書に販売店名やお買い上げ年月日等の必要事項の記載がない場合、保証期間中でも有償修理となります。
- 「セキュリティラウンジあんしんサポート」にユーザー登録をいただくと保証期間中は、保証書を紛失した場合でも当社保証規定に基づき修理いたします。
- シリアル番号は安全管理上重要なものです。お買い上げの際には本体に貼付されているシールに記載のシリアル番号をお確かめください。

検査・修理を依頼されるときは

- 故障とお考えになる前にトラブルシューティングをご確認いただくとともに販売店・取付店または当社にご相談ください。
- 保証書の同封/提示の上、下記の1から6の情報を添えて検査・修理をご依頼ください。セキュリティラウンジあんしんサポートにユーザー登録いただいている場合も同様に下記の1から6の情報を添えてください。

- 1 製品名およびシリアル番号
(例: BEE737-V 0012345678)
- 2 ご依頼内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ販売店、取付店の記載および署名捺印
- 5 お客様のお名前、住所、連絡先電話番号の記載
- 6 装着した車両の車種、年式、型式

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、検査・修理を依頼される時の送料、取り付け、取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

<https://kato-denki.com/support/contact/index.html>



《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご来店いただき発生する送料はお客様のご負担となります。その際には保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はおお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたは販売店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外（有償）となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品（電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど）の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご不明な点は、弊社または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製造発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10